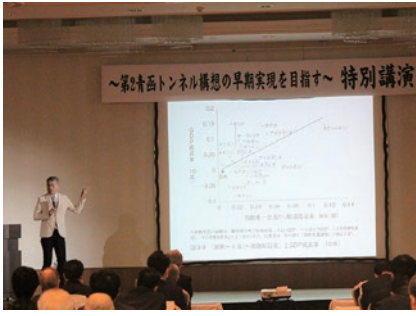


の要請活動は、新型コロナウイルス感染症の影響で自粛しておりますが、今年度は積極的な要請活動を展開してまいります。

また、渡島総合開発期成会の要望事項として、「国家プロジェクトによる第2青函トンネルの建設促進」が要望項目として位置づけられたところであり、渡島全体での取り組みを推進できることとなりました。

更には、北海道の将来にとって大変重要な投資であるとの認識の下、北海道が一丸となって実現に向けて取り組んでいけるよう、北海道に働きかけを行ってまいります。



第2青函トンネル特別講演会の様子

Ⅳ 令和5年度予算概要

令和5年度の地方財政計画では、地域のデジタル化・脱炭素・地方創生の推進、

光熱費高騰への対応などに係る歳出増を踏まえ、地方交付税が前年度比1.7%、3千73億円増の18兆3千61億円となったところであります。

当町における予算編成については、第5次福島町総合計画を基軸とし、有利な財源の確保を図るとともに、事業推進に向けた予算計上に努めております。

町の予算編成方針としては、吉岡温泉整備事業などの大型事業を実施することから、経常経費の縮減に努めるとともに、優先順位の洗い出しと事業の確実な推進を図ってまいります。

まず歳入の町税においては、総務大臣配分償却資産に係る固定資産税の増額により4.6%増の5億1千5百万円を計上しております。また、主要な財源である普通交付税については、国の出口ベースや前年度実績などを考慮し、当初予算では2.1%増の17億8千万円としたところであります。

歳出においては、吉岡温泉施設整備事業や昨年度に引き続き定住向け町有住宅整備事業の実施、老朽化している生活館等の整備、併せて各地区の生活道路の改修などを重点的に取り組ん

でいくこととしております。また、今年度も引き続き産業基盤の充実を図るためチャレンジスピリット応援事業を継続するとともに、少子高齢化に伴う子育て支援や定住対策に取り組んでまいります。

各会計の歳入歳出予算額は、一般会計

51億9千361万2千円

国民健康保険特別会計

7億2千417万8千円

介護保険特別会計

5億5千61万3千円

(うち保険事業勘定5億4千905万円、サ

ビス事業勘定156万3千円)

後期高齢者医療特別会計

7千526万6千円

浄化槽整備特別会計

5千801万2千円

町立診療所特別会計

1億1千111万2千円

水道事業特別会計

2億2千783万2千円

計69億4千62万5千円となります。

以上、令和5年度の町政執行に臨むにあたり、私の所信を申し上げます。

V むすび

今だ、新型コロナウイルス感染症という困難が、私たちの前に立ちはだかつて

おります。

しかし、新型コロナウイルス感染症との戦いも4年目を迎え、ゴールの先が見えませんが、過去の先人たちが様々な困難を乗り越えてきた、これまでの歴史が物語っているように、少し灯りが見えてきております。

このような困難な時代にあつて、人間が本来持つてゐる、共助・公共・自助が試されており、地域全体が助け合い支え合うことが大切だと感じております。

我々の前に立ちはだかる壁は大きく、高く、険しいものがありますが、越えられない壁、困難はなく、町民の生命と財産を守るとい

う強い思いと行動をもつて、町民の安心安全を優先的に取り組んでまいります。私は町長就任以来、常に心に刻んでいる思い、そして町政に向き合う姿勢として、町民の思いに寄り添い、真摯で思いやりのある行政を目指してきたところであります。

私は、町の最高規範である「まちづくり基本条例」の基本理念を尊重し、まちづくりの主体である町民の声に耳を傾け、町民からまちづくりの仕事を託された

議会と行政がしっかりと議論し、「協働によるまちづくり」の実現に努めてまいります。

私の好きな禅語の一つに「天下の人のために蔭涼とならん」とあります。「臨濟録」に収められている言葉で、このような厳しい環境に中であつて、人のためにそつと日陰をつくる人に、人を思いやる心の大切さを説いております。

福島町で暮らす町民一人ひとりが笑顔で過ごせるよう、他人を思いやる心をもって、新たな一年を町民の皆様と共に、本方針に掲げた政策の実現を目指してまいります。

これまで、町民並びに町議会議員の皆様から様々な機会を通じて、いただいた多くの意見や提言に、真摯に耳を傾け、町民の皆様の思いに誠実に向き合い、町民の思いに寄り添った政策の実現に向けて、職員一丸となってさらなる町政の推進に邁進する所存であります。

最後に、町民の皆様の深いご理解とご協力並びに町議会議員の皆様のご指導とご支援を引き続き賜りますようお願い申し上げます。町政執行方針とさせていただきます。